

シリーズ
知って納得！
地域自治区

第2回 **地域協議会はどんな活動をしているの？**

市では現在、合併前の上越市の区域への地域自治区の導入を目指しています。このシリーズでは、地域自治区制度について、より多くの市民の皆さんから知っていただくため、毎回テーマを絞って説明していきます。（このシリーズは、毎月15日号で連載していきます）

■問合せ…自治・地域振興課（内線1449、1547）

13区の地域協議会で自主的に話し合われたテーマの例

身近な暮らしに関するテーマ

- 子育て支援センターの開設時間延長について(安塚区)
- 自主防災組織の結成推進について(浦川原区)
- 通学路の街灯設置について(大島区)
- ごみ袋の改善について(柿崎区)
- 三和区における歩道の整備について(三和区)
- 名立駅の管理について(名立区)

ほか

地域特性をいかしたまちづくりに関するテーマ

- 中郷区が目指す観光振興について(中郷区)
- 光ヶ原高原観光の今後のあり方について(板倉区)
- 越後田舎体験推進協議会への加入について(清里区)

ほか

※●印は、市長に意見書を提出したもの

提出された意見書は、市の政策検討過程に反映されます

地域協議会では、身近な地域のことについて、いろいろなことを話し合えるんだね。



地域協議会は、「自分が暮らしているまちをよくしたい」という気持ちを持った様々な立場の市民の皆さんが、身近な地域で課題となっていることなどについて話し合い、より良い解決策を導き出していくための場です。

地域協議会の会議では、市長から意見を求められた案件のほか、市民の皆さんが日常生活の中で必要と感じていることなどについて話し合います。また、そこで話し合った内容については、意見書を市長に提出し、その実現を求めることができるほか、地域で暮らす皆さんにも問題提起を行うことにより、地域の課題を共有し、テーマや地域の実情に応じてより良い解決策を導き出すこともできます。

平成17年の市町村合併を契機に設置した13区の地域協議会では、現在、合併に伴う「新市建設計画」に関することや、市長から意見を求められた案件だけでなく、それぞれの地域での身近な暮らしの課題から、地域の特性をいかしたまちづくりのあり方に至るまで、様々なテーマについて自主的な話し合いが行われています。

このような地域協議会の活動は、広い市域の中に様々な地域性をもった本市において、市民の皆さんの思いを市政に反映し、各地域のまちづくりを一層活性化していく上で大きな役割を果たしています。

合併前の上越市の区域への地域自治区の導入に向けた取り組み

市議会と議論を行っています

市では、9月1日、市議会総務常任委員会において、合併前の上越市の区域における地域自治区の導入について議論を行いました。

今回の委員会では、市から合併前上越市の地域自治区の区域については、高田、新道、金谷などの16の「地区」を基本と考えていることや、地域自治区の事務所・地域協議会のあり方についての基本的な考え方を説明し、意見交換を行いました。

委員会での説明資料は、市政情報コーナーや市ホームページで公開しています。

地域自治区制度についての出張意見交換会を開催中！

市担当者が、地域自治区制度に関心をお持ちの皆さん(町内会、団体、グループなど)のところに向い意見交換を行います。

希望される方は、自治・地域振興課までご連絡ください。